

やつおせて

2024 No. 43 (4月号)

編集発行: 和田まちづくりセンター 協力: 和田まちづくりセンター運営推進委員
電話: 45-1918 E-mail: wada-k@ph-hamada.jp

～和田地区いろいろ見て歩く記～

いちねんせ～いに
なった～ら～

いちねんせ～いに
なった～ら～



暖かくなり、色とりどりの花々が咲き始めましたね。春は卒業、入学など別れと出会いの季節でもあります。皆さんにとって素敵な出会いがありますように！（つぬ）

小学生人権標語テスト入選作品

助け合う 声かけすれば 花がさく

〔和田地区の歴史コーナー〕



和田地区の地蔵紹介 ④

【曾川地蔵】

（本郷）

歯の病の平癒にご利益があると伝えられている。

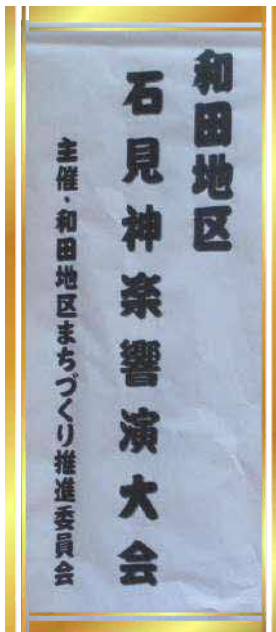
和田の歴史といいつたえ
「防六をあおぎて」佐伯充男著参照

神楽響

「和田の地域資源、石見神楽の伝承」

昨年度から和田地区まちづくり推進委員会で取り組んでいる国庫補助事業「農村RMOモデル支援事業」の三本柱の一つである「地域資源の活用」の位置づけで、これまで地域で守り続けている石見神楽を、今後も大切な地域資源として維持、伝承していくことを目的として3月17日「和田地区石見神楽響演大会」を開催しました。

毎年各地区で開催されている秋の例大祭前夜祭の神楽奉納に、足を運ぶことのできないお年寄りの皆さんにも、「和田の神楽」をゆっくりとご覧いただきました。



演大会



無料送迎バスを運行しました



「大蛇
和田地区合同神楽社中」

石見神楽を代表する演目、大蛇を和田の神楽団体合同で演じました。今では滅多にお目にかかることのない8頭仕立ての大蛇の迫力に、来館者150名から拍手喝采！会場は一気に歓喜に包まれました。

フライドポテト

おでん

ポップコーン

重富親和会と地域ボランティアでおでんやフライドポテトなどを販売しました。「雑子を聞きながらのおでんは最高だね」と皆さん喜ばれていました。





ウィムセット家、 日本人新年会に参加する



皆さま、こんにちは。今日は、ナッシュビルで毎年1月に開催される日本人新年会に息子2人と参加しましたのでその様子をお伝えします。

さて、テネシー州には、約4,300人の日本人が住んでいます。州内には、日本の企業がたくさん存在しており、例えば日産自動車、ブリヂストン、デンソーなどの会社へ日本から出向した駐在員の方が多く住んでいます。



これらの企業を中心として、ナッシュビルでは日本人の新年会が毎年開かれ、皆でお餅をついて食べたり、ステージでは、着物のファッションショー、コーラスの方々は日本の童謡を歌ったり、ヨーヨー釣りや射的、輪投げなど、子どもたちはゲームをして遊んで過ごします。会場内には、古本屋さんも設置され、安く日本の本を手に入れることもできます。

そして、今回は初めて息子たちが杵を使ってお餅を作る体験をしました。ハッピーを着て、ヨイショー！の掛け声と共に杵を振り上げる姿は、なかなか様になっていると思いませんか？2人とも楽しかったようで、自分たちがついたお餅を後で嬉しそうに食べていました。



それから、皆さんは2010年から5年間、阪神タイガースで活躍した元プロ野球選手のマット・マートンさんがナッシュビルに住んでいるのはご存知でしょうか？彼は、アメリカへ帰国後も精力的に日本人に英語を教えたり、日本の文化を伝えるボランティアをされており、地元でも大変有名な方なのです。マットさんも新年会に参加していたので、彼が一体誰なのか？知らない息子たちも記念に写真を撮ってもらいました。

この新年会は、たくさんの日本人の方々と交流することはもちろんですが、子どもたちにとって日本の文化を知る良い機会になるため、これからも毎年参加したいと思っています。

やつおめて

2024 No. 44 (7月号)

編集発行: 和田まちづくりセンター 協力: 和田まちづくりセンター運営推進委員
電話: 45-1918 E-mail: wada-k@ph-hamada.jp

～和田地区いろいろ見て歩く記～

どんっとなった

はなびが

きれいだな～



7月1日から8日まで、旭和田郵便局の隣にある上和田無人市場に、短冊とペンを置いています。みなさんの願いごとを書いて、笹の葉に飾ってみてくださいね！（つめ）

小学生人権標語テスト入選作品

あたたかい 心の幸せ おすそわけ

〔和田地区の歴史コーナー〕

和田地区の地蔵紹介 ⑤

【清道寺地蔵】

(戸川)



旭町誌上巻より抜粋

下戸川の和田屋橋のたもとにある一間半四方の瓦葺きの堂内にあり、手がかけている。1919年（大正8年）和田屋の主人の体験にもとづいて、火傷に御利益のある地蔵さんだということが広まり、詣る人が多くなったという。



肛門ガツパ

第1話

文・絵 佐々岡健次

はて？

年は、取りたくない。今朝もある目的で立ち上がって台所へ？台所へ立って…「はて？ここへ何しにきたのか分からない…」しばらく考えても…？しかたなく元にもどる…そうだ！「コーヒーを飲もう」とやってきたのに…と自分の脳みその衰えを嘆きつつ、やっとコーヒーにありつく。こんな日々の中で「まちづくりセンター」から妖怪の事を書け！と注文があった。

えっ?!

2012年の始め金城町の図書館で面白い話は無いものかと「郷土資料コーナー」を訪ねた。そこで見つけた不思議な地名、「肛門！」尻の穴の事だ！そんな地名がある。金城の美又温泉近くに！詳しい話を読む…とカッパの話であった。

びっくり…

広浜線美又口より美又温泉へ下る。途中の川筋でのことだ。その昔、そこへ農夫が牛を連れて草刈りに向かっていた。その時、小さな1匹のカッパがでてきた。

牛は急に暴れだした。カッパは牛の天敵！それに怒った農夫は、そのカッパをひっ掴まえて首根っこを押さえつけて、腰の鎌で掻き切ろうとした。

宝もの？

カッパは手を合わせて「どうぞ、命だけは助けて下さい。その代わりに私の大切な宝物を差し上げます」と云って、小さな樽を出した。「それから、もう一つお願いがあります。この手紙を下の清水の出るあたりに、私の親方が居ますから渡して欲しいのです。」とカッパは去って行った。



カッパが農夫に渡したものは何なのか？

次回もお楽しみ！



ウイムセット家に

新しい家族がやって来た！



文・写真
教子ウイムセット

皆さま、こんにちは。今回は、去年からずっと皆さまにお伝えしなかった、私たちの新しい家族をご紹介します。なんと、我が家にネズミ…間違え、チンチラのシュガちゃん、一歳の女の子を家族に迎えました。どうぞよろしくお願ひいたします。



ですので、毎日、朝晩に部屋を散歩させるのですが、常に見張っておかないと、大ごとになるので注意が必要です。

元々は、次男パリスがクリスマスのプレゼントにペットが欲しいと言いだしたため、家族に迎えたわけですが、最初は、ネズミのお世話なんて絶対に無理…と思っていた私でした。しかし、今では愛犬ブルーくんがヤキモチを妬くほど、シュガちゃんにメロメロです。夫や息子たちにも非常に懐いており、頭や肩に乗ったり、意外に甘えん坊な性格のシュガちゃんです。

皆さまは、シュガちゃんのようなフワフワなチンチラを見たことはありますか？私は、彼女に出会うまでこんな生き物が存在することさえ知りませんでした。チンチラは、チリにあるアンデス山脈など標高が高い地域に生息し、乾燥牧草を主食とします。柔らかい毛が特徴で、なんとも形容し難い羽毛のような触り心地です。

さて、このシュガちゃん。体は小さいけれど、かなりのエネルギーを持っており、家中のもの、例えば壁、木製のドア、本、洋服まで…ありとあらゆるものを噛みます。携帯の充電ケーブルは、数秒で噛みちぎります。



最近は、シュツチャーん！と遠くから呼ぶと、全力で私に向かって走って来る姿はなんとも愛らしく、お世話は大変だけれど動物と一緒に暮らす幸せを感じる日々です。願うならば、いつか皆さまにもフサフサのシュガちゃんの感触を経験していただきたいものです。

地域に花を植えよう!



身近にできる夏の省エネ活動として、はまだエコライフ推進隊よりゴーヤの苗をいただきました。



マリーゴールド25本、コリウス15本
ひまわりの種をまきました。

大きく育てね



令和6年6月1日(土)環境保全・景観美化に対する意識の向上を目的に、和田地区子ども会の皆さんと、まちづくりセンター校舎前花壇に夏の花植えとゴーヤのグリーンカーテン作りを行いました。花や緑の美化活動は、誰でも気軽に、楽しく取り組みます。「美しい和田地区」を目指して、自宅でも始めてみませんか?